

ダム周辺生態系に関するセミナー 水生生物個体群の分断影響と保全



ダムなどの河川横断構造物は、水生生物の移動を阻害し、個体群の分断・孤立化をもたらします。そのことにより、局所個体群は、ときには絶滅するなどの影響を受けることもあります。どの種がどの程度孤立化すると影響がでるのでしょうか？ どの程度の連続性を確保すれば良いのか何か指針があるのでしょうか？ このセミナーでは、分断の影響の実態を報告し、河川における水生生物個体群の保全を考えてきたいと思えます。

日時 平成 29 年 11 月 14 日 (火) 13:30-17:40 (意見交換会 18:00-20:00)
場所 愛媛大学 城北キャンパス 総合情報メディアセンター メディアホール
主催 水源地生態研究会
共催 愛媛大学社会共創学部
後援 (一財)水源地環境センター、応用生態工学会
協力 応用生態工学会松山



●参加費：無料 (ただし、意見交換会については会費 3,000 円[当日お支払い下さい])

●定員：100 名 (定員になり次第締め切ります。意見交換会参加の場合は 10 月 31 日までにお申し込み下さい)

★CPD：このセミナーは土木学会継続教育(CPD)制度の認定プログラム (認定番号：JSCE17-1024) です。

★申込み：①氏名・ふりがな②所属③意見交換会の出欠④連絡先 (郵便番号、住所、電話番号、Email アドレス) を明記のうえ、メールで seminar@wec.or.jp (水源地環境センター研究第三部) までお申し込みください。

問い合わせ先：水源地生態研究会事務局
一般財団法人水源地環境センター 研究第三部
〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-14-2 電話：03-3263-9945

～プログラム～

- 13:30-13:35 開会挨拶
来賓挨拶
- 13:35-13:55 「水生生物個体群のダムによる移動分断と陸封（概論）」
大森浩二（愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 教授）
- 13:55-15:15 研究報告
「魚類個体群の移動分断の実態：野外での分布調査から」
井上幹生（愛媛大学大学院理工学研究科 教授）
「魚類個体群の移動分断の実態：DNA 分析から」
高木 基裕（愛媛大学南予水産研究センター 准教授）
- 休憩——
- 15:30-16:30 現場での取り組みの報告
早明浦ダム：選択取水設備の運用等について
石手川ダム：水質問題の沿革と対策について
野村ダム：アオコ対策について
- 休憩——
- 16:50-17:35 議論
- 17:35-17:40 閉会挨拶
- (18:00-20:00 意見交換会 愛媛大学 校友会館1階 Freeny)

